

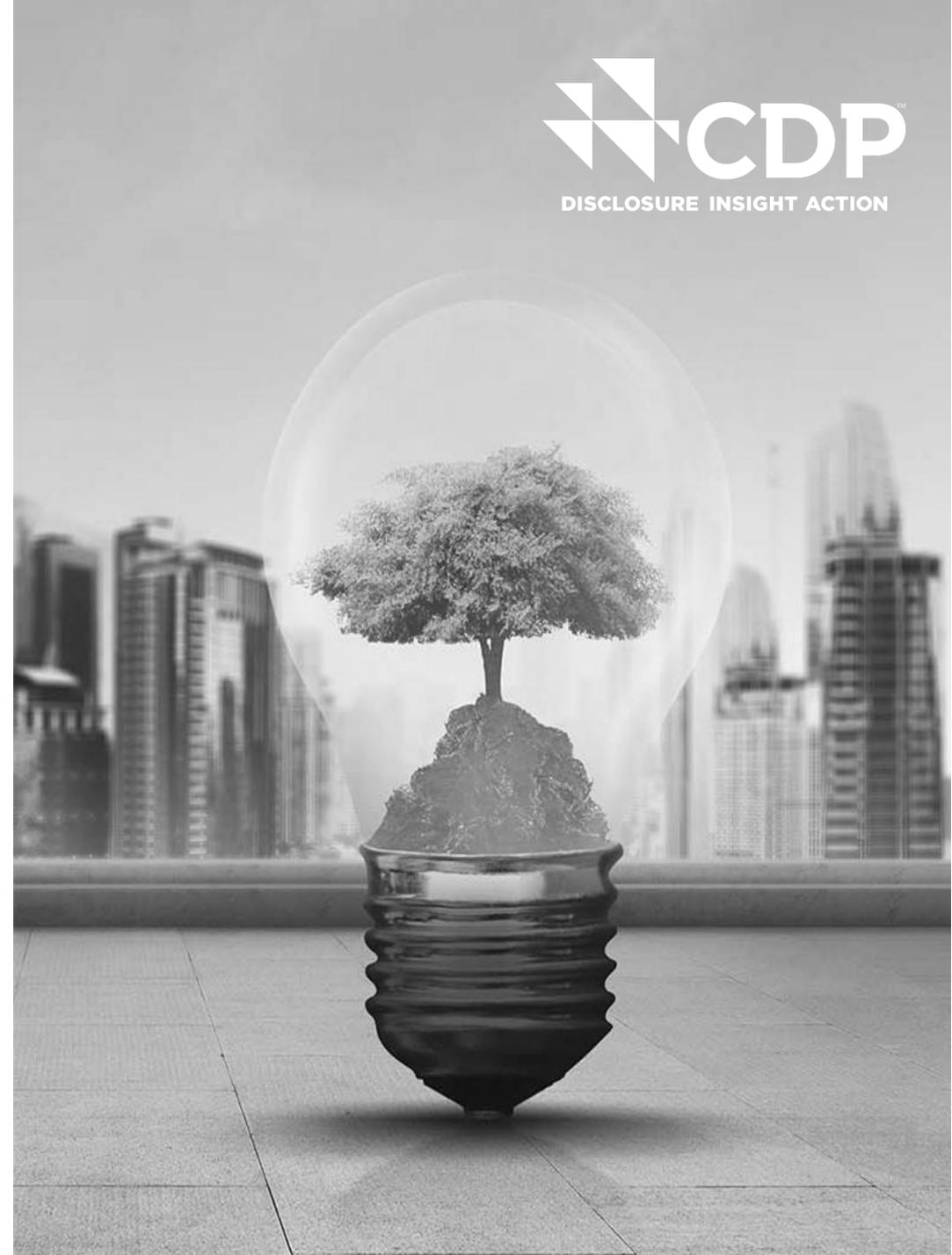
# 2022年水セキュリティ スコアリング基準 2021年からの変更点

2022年4月28日

CDP Japan

## 留意事項

- ▼ 本ウェビナーでは、全セクターの企業に関連する主要な変更点について取り上げます。軽微な変更点やセクター固有質問での評価基準の変更点については、こちらの資料をご確認ください
- ▼ 質問書のガイダンス及びスコアリング基準は、最新のベストプラクティスの反映や、回答データの質の向上等を目的として、開示サイクルの途中で更新される場合がございます



# 目次

- ▼ CDPスコアリングの概要
  - ▼ スコアリングアプローチ
- ▼ 2022年 水セキュリティスコアリング基準の変更点
  - ▼ カテゴリーおよびウェイトの変更
  - ▼ 設問レベルの変更
- ▼ スコアリング資料2022



# スコアリングの概要

## スコアリングアプローチ

# スコアリングアプローチ

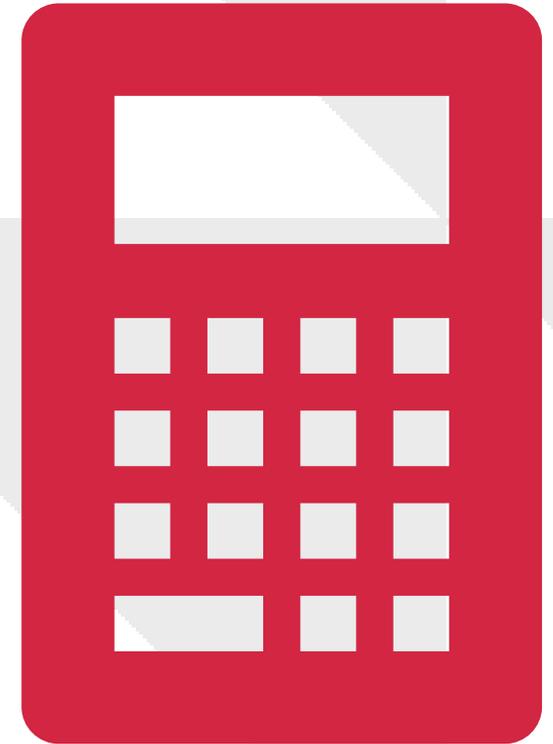
## ▼ スコアリングレベル

- 情報開示、認識、マネジメント、リーダーシップ

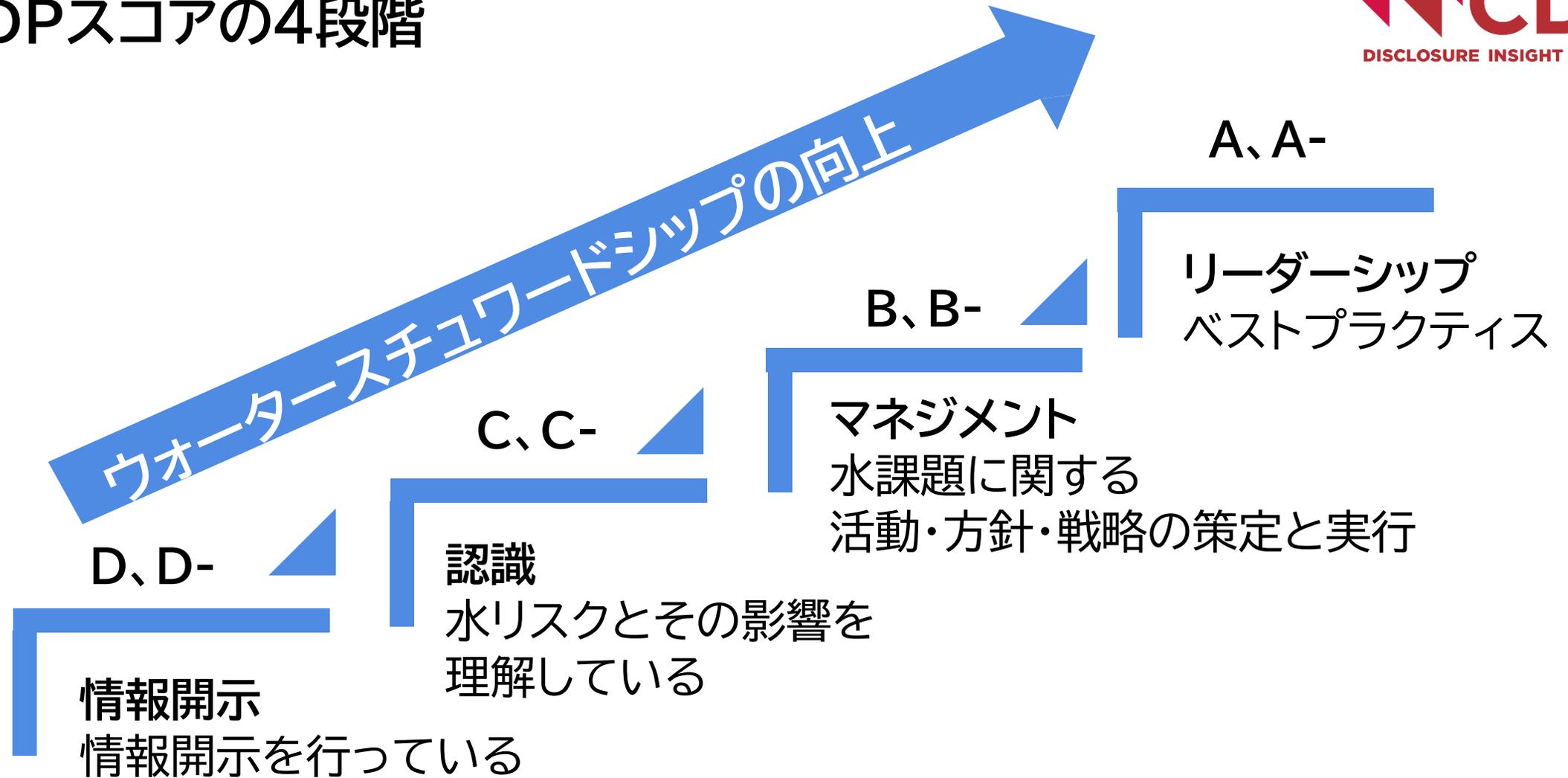
## ▼ 閾値

## ▼ カテゴリー

## ▼ ウェイティング（重みづけ）



# CDPスコアの4段階



# 情報開示と認識



## 情報開示（DおよびD-）。

- ▼開示の完全性・透明性についての採点
- ▼データの信頼性と品質の向上を推進する

## 認識（CおよびC-）。

- ▼環境問題の意味を考えている人を見分けるための採点方法
- ▼透明性のある情報開示から、環境問題をある程度知っている状態へ

# マネジメントとリーダーシップ

## マネジメント（BおよびB-）

- ▼アクションの実施に対する採点
- ▼環境リスクと影響の積極的な追跡、軽減、阻止

## リーダーシップ（AおよびA-）。

- ▼環境マネジメントのベストプラクティスを実践している企業を特定するためのスコアリング
- ▼課題を詳細に理解し、知識と具体的な行動の両方を実証している。

# スコアリングアプローチ： カテゴリとウェイト（重みづけ）

- ▼ スコアリング・カテゴリは、2022年の質問書・モジュールのサブグループであり、各テーマに固有で作成されています
- ▼ 各設問は一定のカテゴリに属します
  - ▼ 重要なデータポイントにフォーカスする
  - ▼ より詳細な企業スコアの内訳を提供する
  - ▼ 強み・弱みをより明確に
- ▼ ウェイト（重みづけ）は、総合得点における各カテゴリの相対的な重要性を反映しています。
- ▼ スコアリングウェイトは、マネジメントレベルとリーダーシップレベルの各スコアリングカテゴリにのみ適用されます。
- ▼ セクター別質問書の場合、セクターごとに環境問題やその管理方法に関する仕様が異なるため、これを反映して、各テーマのセクターカテゴリで異なるウェイトが適用されることとなります。



# 水セキュリティの カテゴリーとウェイトニング - 2022年の変更点

# 2022年 水セキュリティカテゴリー

\* 2022年のウェイトを変更

\* 一部のカテゴリーでは、変化を打ち消すため、またウェイト付けのバランスを確保するために、ウェイト付けに若干のバリエーションを持たせています。

カテゴリー	
コンテキスト	
水会計	*
バリューチェーン・エンゲージメント	*
ビジネスへの影響	
水リスク評価	*
水関連リスクエクスポージャーと対応	
水関連機会	
水関連ポリシー	*
ガバナンス	
事業戦略	
環境課題への統合的アプローチ	
定性的・定量的目標	
検証	*

W1.2jの新採点導入に伴い、マネジメントレベルの加重を少し増やした。(バランス調整のため、リーダーシップレベルのウェイトも若干変更)。

設問票構成の変更を反映し、マネジメントとリーダーシップレベルのウェイトを若干引き下げた。

2022年にマネジメントレベルのみ (W5.1a) のウェイトをしたカテゴリーを新設



# 2022 カテゴリ別売上構成比 - 一般

カテゴリー	マネジメント ウェイト	リーダーシップ ウェイト
コンテキスト	0%	2%
水会計	12%→13%	12%→13%
バリューチェーン・エンゲージメント	9%→10%	9%→10%
ビジネスへの影響	3%	3%
水リスク評価	15%→12%	13%→11%
水関連リスクエクスポージャーと対応	10%	10%
水関連機会	4%	4%
水関連ポリシー	9%→8%	9%
ガバナンス	15%	15%
事業戦略	7%	7%
環境課題への統合的アプローチ	3%	3%
定性的・定量的目標	13%	13%
検証	0%→2%	0%

「検証」カテゴリーは、W5.1aのマネジメントレベルに重みづけがされるようになりました

# 2022 カテゴリーウェイティング変更点 - セクター別



## マネジメント

- 全セクターでウェイトを若干増加
- CH、M&M、O&Gのウェイトを若干増加。
- 両レベルとも全セクターでウェイトが若干減少
- マネジメントレベルでは全分野でウェイトが若干減少
- マネジメントレベルにおけるEUのウェイトを少し増やす
- マネジメントレベルにおける新しいウェイト付け

	マネジメント	リーダーシップ	マネジメント	リーダーシップ	マネジメント	リーダーシップ	マネジメント	リーダーシップ	マネジメント	リーダーシップ
水の 카테고리/セクター	CH		EU		FBT		M&M		O&G	
コンテキスト	0%	2%	0%	2%	0%	2%	0%	2%	0%	2%
水会計	10%→11%	10%→11%	10%→11%	10%→11%	10%→11%	10%→11%	10%→11%	10%→11%	10%→11%	10%→11%
バリューチェーン・エンゲージメント	9%→10%	9%→10%	5%	5%	12%	12%	6%→7%	6%→7%	6%→7%	6%→7%
ビジネスへの影響	3%	3%	3%	3%	3%	3%	3%	3%	3%	3%
水リスク評価	13→10%	11%→9%	15%→12%	13%-→11%	13%→11%	11%→10%	15%→12%	13%-→11%	15%→12%	13%-→11%
水関連リスクエクスポージャーと対応	10%	10%	12%	12%	9%	9%	10%	10%	10%	10%
水関連機会	4%	4%	5%	5%	4%	4%	5%	5%	5%	5%
水関連ポリシー	9%→8%	9%	9%→8%	9%	8%→7%	8%	9%→8%	9%	9%→8%	9%
ガバナンス	15%	15%	15%	15%	15%	15%	15%	15%	15%	15%
事業戦略	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%
環境課題への統合的アプローチ	7%	7%	6%→7%	6%→7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%
定性的・定量的目標	13%	13%	13%	13%	12%	12%	13%	13%	13%	13%
検証	0%→2%	0%	0%→2%	0%	0%→2%	0%	0%→2%	0%	0%→2%	0%

# スコアリングアプローチの 変更点—概要

# スコアリングアプローチの変更



ベストプラクティスを反映するため、またプログラム間の整合性を図るための設問レベルの採点基準の変更（例：設問W4.1a, W4.2, W4.2a, W4.3a.）



間接操業（W1.1 & W1.4）において水を重要視していないと回答した企業のみ適用される新スコアリングルートの追加。



リスクと機会の問題（W4.2, W4.2a & W4.3a）のポイントは、これまでは各行に比例して付与でしたが、2022年ではマネジメントとリーダーシップレベルで最も良い列（best row）が採点されるようになりました。



再構築。2022年スコアリングの一貫性を高めるため、全テーマの全基準を文言の変更と再構成（採点に影響なし）。

# 設問レベルの変更

# 変更点の概要



= スコアへの影響はほとんどない。詳細については、ウェブサイト上の「変更点」資料をご参照ください。



## W0 イントロダクション

W0.6a	マイナーチェンジ	リーダーシップ
W0.7	新規設問	スコアなし

## W1 現在の状態

W1.1	マイナーチェンジ	マネジメント
W1.2	マイナーチェンジ	認識, リーダーシップ
W1.2b	マイナーチェンジ	リーダーシップ
W1.2d	マイナーチェンジ	マネジメント
W1.2h	スコアリングの変更	マネジメント
W1.2i	スコアリングの変更	マネジメント
W1.2j	スコアリングの変更	マネジメント
W1.3	新規設問	情報開示, 認識
W-CH1.3a	マイナーチェンジ	マネジメント, リーダーシップ
W-EU1.3a	マイナーチェンジ	マネジメント, リーダーシップ
W-FB1.3a	マイナーチェンジ	マネジメント, リーダーシップ
W-MM1.3a	マイナーチェンジ	マネジメント, リーダーシップ
W-OG1.3a	マイナーチェンジ	マネジメント, リーダーシップ
W1.4	スコアリングの変更	情報開示, 認識, マネジメント, リーダーシップ
W1.4a	マイナーチェンジ	マネジメント, リーダーシップ
W1.4b	マイナーチェンジ	マネジメント, リーダーシップ
W1.4d	マイナーチェンジ	マネジメント

## W2 ビジネスへの影響

W2.1a	マイナーチェンジ	リーダーシップ
-------	----------	---------

## W3 手続き

W3.3a	採点方法の変更 (設問内容の変更に伴うもの)	情報開示, 認識, マネジメント, リーダーシップ
W3.3b	スコアリングの変更	マネジメント

## W4 リスクと機会

W4.2	スコアリングの変更	マネジメント, リーダーシップ
W4.2a	スコアリングの変更	マネジメント, リーダーシップ
W4.3a	スコアリングの変更	マネジメント, リーダーシップ

## W5 施設レベルの水会計

W5.1	マイナーチェンジ	マネジメント
W5.1a	スコアリングの変更	情報開示, 認識, マネジメント

## W6 ガバナンス

W6.1a	マイナーチェンジ	マネジメント, リーダーシップ
W6.2a	マイナーチェンジ	マネジメント, リーダーシップ
W6.2d	新規設問	情報開示, 認識, マネジメント
W6.3	スコアリングの変更	マネジメント, リーダーシップ
W6.5a	マイナーチェンジ	マネジメント

## W7 事業戦略

W7.1	スコアリングの変更	マネジメント, リーダーシップ
W7.3a	マイナーチェンジ	情報開示, リーダーシップ
W7.5	新規設問	情報開示, 認識

## W8 目標

W8.1	明確化	マネジメント
W8.1a	明確化	マネジメント, リーダーシップ
W8.1b	明確化	マネジメント

# モジュール0： イントロダクション

W0.6a

# 重要な除外項目

(W0.6a) 除外項目を報告してください。



変更度合い: リーダーシップレベルの明確化

## リーダーシップスコアリング基準

リーダーシップポイントを獲得するには、認識ポイントが満点付与されている必要があります。

次のように開示された行の数に比例して、行ごとにポイントが付与されます:

ルートA) 最近の合併/買収以外の除外内容を開示する場合、[説明してください]欄に次の内容が記入されている:

- i) 総使用量(または消費量)あるいは排出される汚染負荷のかなりの部分を代表するのを含む、除外の根拠 - 1ポイント
- ii) 除外項目が占める水量の割合の定量的な尺度 - 例えば、総取水量(または消費量)のうちの割合) - 0.5ポイント

ルートB) 最近の合併/買収以外の除外内容を開示する場合、[説明してください]欄に次の内容が記入されている:

- i) 買収が生じた年と企業がその報告にデータを含めると予想される時期 - 1.5ポイント

上下水道・衛生(WASH)サービスで使用される水、採取した雨水、および最近の企業分割は、重大な除外内容とは見なされません。

この質問では最大1.5ポイントを獲得できます。

## 修正内容

報告される除外数量は、企業が取水や、消費したりする総水量に対する相対的なものでなければならないことを明確にしました。



Aリストの必須条件とリンクしています

# モジュール1：現在の状態

W1.1      W1.2j  
W1.2      W1.3  
W1.2b     W1.4  
W1.2d     W1.4a  
W1.2h     W1.4b  
W1.2i

# 依存度

(スライド 1/3)



(W1.1) 貴社の事業の成功には、水質と水量はどの程度重要ですか。(現在および将来の)重要度をお答えください。

変更度合い: マネジメントレベルの軽微な変更

水質と水量	直接利用の重要度評価	間接利用の重要度評価	説明してください
十分な量の良質な淡水を利用できること	選択肢: <ul style="list-style-type: none"><li>● 全く重要ではない</li><li>● さほど重要ではない</li><li>● 中立</li><li>● 重要</li><li>● 不可欠</li><li>● 評価していません</li></ul>	選択肢: <ul style="list-style-type: none"><li>● 全く重要ではない</li><li>● さほど重要ではない</li><li>● 中立</li><li>● 重要</li><li>● 不可欠</li><li>● 評価していません</li></ul>	文章入力欄[最大2,000文字]
十分な量のリサイクル水、汽水、随伴水を利用できること			

W1.4でポイントを獲得するためには、両方の行が基準iv)を満たしている必要があります。

## マネジメント採点基準

マネジメントポイントを獲得するには、認識ポイントが満点付与されている必要があります。

説明してください欄で以下の内容を記入することに対して、各行でマネジメントポイントが付与されます：

- 直接操業での主な用途(または利用なしの表明) - 0.5ポイント
- 間接操業での主な用途(または利用なしの表明) - 0.5ポイント
- 直接操業に対して当該重要度評価を選択した理由 - 0.5ポイント
- 間接操業に対して当該重要度評価を選択した理由 - 0.5ポイント

注記：基準iv)に関して、[重要ではない]または[まったく重要でない]が選択されている場合、ポイント付与のためには重要度評価が選択された理由の自社固有の説明が記入されている必要があります。そうでなければ、この基準に対しては0ポイントとなります。

## 修正内容

間接操業「重要度評価」で「あまり重要でない」または「全く重要でない」を選択した企業は自社固有での説明が必要となりました。

- 間接操業において水を重要視していないと回答した企業のみに影響します。
- W1.4でクロスチェックされています。バリューチェーンとの関わりが、貴社ビジネスに関連する活動ではないということと整合できているかを確認します。

## (W1.4) 水関連問題に対し、貴社バリューチェーンと協働していますか。

変更度合い: 新規採点ルート

- 間接操業において「水は重要ではない」と回答した企業のみに適用されます。
- **W1.1の基準とのクロスチェック iv:**バリューチェーンへのエンゲージメントが、貴社ビジネスに関連する活動ではないことの検証を提供する。
- 全レベルのスコアリングに適用されます: 情報開示、認識、マネジメント、リーダーシップ

### 情報開示のレベル

情報開示スコアリング基準

ルートA) いずれかの選択肢が選択されている - 1ポイント

注記: 質問W1.1の両方の行に関して、[間接利用の重要度評価]欄で[どちらとも言えない]、[重要]、または[非常に重要]を除くいずれかの選択肢を選択した企業に対して、以下のルートが適用されます。そのため質問W1.4のルートに関してではありません。

ルートB) 企業が質問W1.1のすべての行の[間接利用の重要度評価]欄で[どちらとも言えない]、[重要]、または[非常に重要]を除く選択肢を選択した場合 - 1ポイント

#### 修正内容

W1.4のルートに入っている企業: 変更なし。上記ルートA)はドロップダウンの選択式採点として残す。

W1.4のルートに入っていない企業については、2022年に新たな採点ルートが追加されました。

- W1.4でフルポイントを得るためには、企業は設問W1.1の「間接使用の重要度評価」の列で、「あまり重要でない」または「全く重要でない」のどちらかを選択する必要があります。開示レベルでは、W1.1のデータポイントを報告している限り、ポイントが付与される。

# バリューチェーン・エンゲージメント

(スライド3/3)



## (W1.4) 水関連問題に対し、貴社バリューチェーンと協働していますか。

### 変更度合い: 新規採点ルート

- 間接操業において「水は重要ではない」と回答した企業のみに適用されます。
- **W1.1の基準とのクロスチェック iv:**バリューチェーンへのエンゲージメントが、貴社ビジネスに関連する活動ではないことの検証を提供する。
- 全レベルのスコアリングに適用されます: 情報開示、認識、マネジメント、リーダーシップ

## 認識、マネジメント、リーダーシップ

### マネジメント採点基準

ルートA) [はい、サプライヤー]または[はい、顧客、またはその他のバリューチェーン・パートナー]のいずれかの選択肢 - 1ポイント

注記: 質問W1.1の両方の行に関して、[間接利用の重要度評価]欄で[どちらとも言えない]、[重要]、または[非常に重要]を除くいずれかの選択肢を選択した企業に対して、以下のルートが適用されます。そのため質問W1.4のルートに関してではありません。

### ルートB)

企業が質問W1.1のすべての行の[間接利用の重要度評価]欄で[重要ではない]または[まったく重要でない]を選択した場合:

- 両方の行に関して、質問W1.1の基準iv)が満たされている場合 - 1ポイント

または

その他の状況 - 0ポイント

### 修正内容

W1.4のルートに入っている企業。変更なし。ルートA)はドロップダウンの選択式採点として残す。

W1.4のルートに入っていない企業については、2022年に新たな採点ルートが追加されました。

- W1.4で満点を取るには、企業は設問**W1.1の基準iv)**を両列で満たす必要がある。

# (W1.1の基準 iv への対応)

## 事例紹介



iv) 間接操業に対して当該重要度評価を選択した理由 - 0.5ポイント

注記：基準iv)に関して、[重要ではない]または[まったく重要でない]が選択されている場合、ポイント付与のためには重要度評価が選択された理由の**自社固有の説明**が記入されている必要があります。そうでなければ、この基準に対しては0ポイントとなります。

この設問のCompany Specific(自社固有)  
とはどういう意味ですか？

- この企業の間接操業が水を重要視していない理由を説明する、地域または業界特有の文脈/背景情報。

※詳しくはスコアリングイントロダクションの資料をご覧ください。

「あまり重要でない」 / 「全く重要でない」を選択した理由は...

### 0点

...水は家庭用としてしか使われず、サプライヤーにとって不可欠なものではないので、重要視されていない

重要度評価の説明としては有効だが、自社固有ではないので、なぜサプライヤーで使われていないのかを知る必要がある - 0点

### 0.5点

...商業用不動産を取得して賃貸している当社では、お取引先のほとんどが本社オフィスのみでガス・電気メーカーであり、操業上の水への依存度は低い。また、当社のサプライヤーは一般的に水不足の問題のない地域で事業を展開しています。さらに、当社の製品は使用段階で水を必要としないため、当社のバリューチェーンには下流での水への依存はありません。

# W1.1への対応 - W1.4への関連性とベストプラクティス

- 「間接使用重要度評価」欄の両行で「あまり重要でない」または「全く重要でない」を選択した場合、W1.4は企業に提示されない。
- W1.4でポイントを獲得するためには、基準ivを両方の行で達成する必要があります。

W1.1, iv) スコア		W1.4点
1列目	2列目	
0点	0点	0点
0点	0.5点	0点
0.5点	0点	0点
0.5点	0.5点	満点



# 全社的な水会計

(W1.2)水に関する以下の側面について、貴社の事業全体でどの程度の割合を定期的に測定・モニタリングしていますか。



## 変更度合い: 軽微な変化 - 認識レベル

水に関する側面	操業地/施設/事業の比率(%)	説明してください
取水 - 総取水量	選択肢: ● モニタリングしなかった ● 1%未満 ● 1~25 ● 26~50 ● 51~75 ● 76~99 ● 100% ● 関連性がない	文章記入欄[最大1,000文字]
取水 - 水源別取水量		
[金属・鉱業セクターのみ] 貴社の金属・鉱業セクター活動に関連した混入水 - 総量		
[石油・天然ガスセクターのみ] 貴社の石油・天然ガス事業活動に関連した随伴水 - 総量		
取水の質		
排水 - 総排水量		
排水 - 放流先別排水量		
排水 - 処理方法別排水量		
排水の質 - 標準的排水基準別		
排水の質 - 温度		
水消費量 - 総量		
リサイクル水/再利用水		
適正に機能し安全に管理された上下水道・衛生(WASH)サービスを全従業員に提供すること		

サイト/施設/操業の25%以上をモニタリングしている企業をスコアリング対象

これらの変更は、W1.2 M&MとO&G(セクター)の採点にも適用されます。これに伴い、認識でのセクター別点数配分が4点から5点に増加しました。

### 修正内容

#### 認識

- 列の「排水品質-標準排水パラメータ別」は、2022年に認識レベル基準に照らして採点されます。
- 認識レベルのポイント配分が3から4に増加しました

認識レベルで評価される行

2022年の新行

# 全社的な水会計

(W1.2)水に関する以下の側面について、貴社の事業全体でどの程度の割合を定期的に測定・モニタリングしていますか。



変更度合い: 軽微な変化 - 認識レベル

## 認識採点基準

選択肢...である以下の行のそれぞれに対して

- [26 ~ 50]
- [51 ~ 75]
- [76 ~ 99]
- [100%]

[操業地/施設/事業の比率(%)]欄で...が選択されている - 1ポイント

- [取水 - 総取水量]
- [排水 - 総排水量]
- [水消費量 - 総消費量]
- [排水水質 - 標準的排水基準別]

その他の行 - 0/0ポイント

サイト/施設/操業の25%以上をモニタリングするための選択ベースのスコアリング

## 修正内容

### 認識

- 列の「排水品質-標準排水パラメータ別」は、2022年に認識基準に照らして採点されます。
- 認識レベルのポイント配分が3から4に増加しました

# 全社的な水会計

(W1.2b)貴社の事業全体で、取水、排水、使用された水それぞれの総量をお答えください。また、それらの量は前報告年と比較してどうでしたか。



## 変更度合い: 軽微な変更 - リーダーシップレベル

### リーダーシップスコアリング基準

リーダーシップポイントを獲得するには、マネジメントポイントが3ポイント以上付与されている必要があります。

i) 報告した数値が下記の式と一致する(最大±5%)場合 - 1ポイント

$$C = W - D$$

ただし、以下のとおりとする

C= [量 (メガリットル/年)]欄の[総水消費量]行

W= [量 (メガリットル/年)]欄の[総取水]行

D= [量 (メガリットル/年)]欄の[総排水]行

または

式を満たしていない場合:

報告した数値がバランスを取れていない理由の説明が、[説明してください]欄のいずれかの行に記入されている - 1ポイント

ii) [総取水]行に対して、[前報告年との比較]欄で以下の選択肢のいずれかを選択: - 0.5ポイント

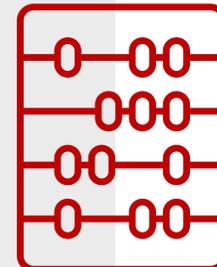
- [大幅に少ない]

- [少ない]

- [ほぼ同じ]

### 修正内容

リーダーシップレベルの基準i)に「(validな)理由」という言葉を追加し、十分な根拠がある説明のみが加算対象となることを明確化した。



# 全社的な水会計

(W1.2b)貴社の事業全体で、取水、排水、使用された水それぞれの総量をお答えください。また、それらの量は前報告年と比較してどうでしたか。



変更度合い: 軽微な変更 - リーダーシップレベル

## Good example response:

While close, the total consumption value is not the simple difference between water withdrawal and water discharges. This is due to rainfall events and plant operations that can result in higher discharges, but not affect overall plant water consumption, which is a nominal value based on plant water balance diagrams and actual water withdrawals.

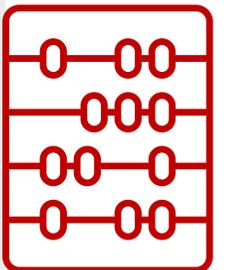
## Good example response:

Please note that differences between volumes of water withdrawn, consumed and discharged can be explained, for example, by unquantified losses due to evaporation, leaks and volumes of condensate generated through the use of steam as a source of energy. This is why total water consumption does not equal total water withdrawals minus discharges.

(仮訳)

近い値ではありますが、総消費量は取水量と放水量の単純な差ではありません。これは、降雨現象や工場の操業によって、排水量が増えることはあっても、工場全体の水消費量には影響しないためで、工場の水収支図と実際の取水量に基づいた名目上の値となっています

取水量、消費量、排水量の差は、蒸発、漏水、エネルギー源としての蒸気使用時に発生するドレンの量など、数値化されていない損失で説明できる場合があります。このため、水の総使用量は、取水量から排水量を差し引いた量とは一致しない。



# 全社的な水会計

(W1.2d)水ストレス下にある地域から取水しているか否かを示し、その割合を記入してください。

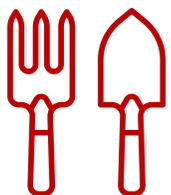
変更度合い: 軽微な変更 - マネジメントレベル  
(明確化)

## 2021年ルートA) 基準i

i) 水ストレス地域から取水があるかどうかを評価するために、選択したツールをどのように適用したかについての**自社固有**の説明 - 1 ポイント

## 2022年ルートA) 基準i

i) 水ストレス地域から取水されているかどうかを評価するために、選択したツールをどのように適用したかの**説明** (例: **どのデータセットを使用したか**) - 1 ポイント



### 修正内容

ROUTE A 基準 i) から **自社固有**の要件が削除された。この基準では、選択したツールの**説明**を求めるようになった。



# 全社的な水会計



(W1.2h)水源別の総取水量をお答えください。

(W1.2i)放流先別の総排水量をお答えください。

変更度合い: スコアリング基準の変更 - マネジメントレベル(簡略化)

## 2021年 ルートA基準

A) [関連性あり]を選択した場合は、[説明してください]欄に以下の情報をすべて記入し回答を完了した行のそれぞれについて、マネジメントポイントが0.5ポイント付与されます:

- i) この特定の水源からの取水量が重要である理由について説明
- ii) 前報告年からの量の変化/無変化の理由を説明。

## 2022年基準

ルートA) 行が全て記入されている、且つ、[関連性]欄で[関連する]が選択されている場合、[説明してください]欄に以下の内容を記入:

- i) 前報告年からの量の変化/無変化の理由に関する説明 - 0.5ポイント

ルートB) 行が全て記入されている、且つ、[関連性]欄で[関連しない]が選択されている場合、[説明してください]欄に以下の内容を記入:

- i) この特定の水源からの取水量が重要ではない理由について説明 - 0.5ポイント

ルートC) [関連性]欄で[関連するが量は不明]が選択されている場合 - 0ポイント

2022年度質問書では  
削除しています

### 修正内容

2021年版スコアリング基準のルートA基準i)は削除されました。

# 全社的な水会計

(W1.2h)水源別の総取水量をお答えください。



変更度合い: 軽微な変更 - マネジメントレベル

地下水-再生不能  
50年のタイムスケール  
で自然から水が補充  
されず、比較的深いと  
ころにある地下水

[地下水 - 非再生可能]行に対して、[前報告年との比較]欄で以下の選択肢のいずれかを選択 - 0ポイント

- [ほぼ同じ]

- [多い]

- [大幅に多い]

行「地下水-再生不能」においてマネジ  
メントレベルでは有効な選択肢ではなくな  
りました。

## 修正内容

「地下水-再生不能」の行の「前回の報告年度との比較」欄で「ほぼ同じ」を選択した場合、その行はポイント対象外となります。

# 全社的な水会計

(W1.2j)貴社の直接操業内で、貴社が排水を処理する最高レベルを示してください。



## 変更度合い:スコアリング基準の変更(追加) - マネジメントレベル

### マネジメント採点基準

ルートA) 行が全て記入されている、且つ、[排水する処理レベルの事業への関連性]欄で[関連する]が選択されている場合、[説明してください]欄に以下の内容の両方が記入されていれば0.5ポイント付与されます：

- i) 貴社の排水に適用される処理のレベルに関する根拠、且つ
- ii) 組織が規制または自主基準を順守しているか否か

ルートB) 行が全て記入されている、且つ、[関連性]欄で[関連しない]が選択されている場合、[説明してください]欄に以下の内容が含まれている：

- i) 処理のレベルが貴社の排水に関連しない理由の説明 - 0.5ポイント

ルートC) [排水する処理レベルの事業への関連性]欄で[関連するが量は不明]が選択されている場合 - 0ポイント

注記：[その他]の行はマネジメントレベルで採点されません。

### 修正内容

マネジメントレベルの排水処理を点数化する新基準。

# 水原単位

(W1.3)貴社の総取水効率の数値を記入してください。



変更度合い:新規設問と新しい基準

情報開示スコアリング基準

回答記入した各セルにつき -1ポイント

認識採点基準

記入済の表1つにつき -1ポイント

マネジメント採点基準

採点対象外

リーダーシップスコアリング基準

採点対象外

完成度のみで採点

マネジメント&リーダーシップ  
レベルでは採点されません

修正内容

情報開示と認識レベルの新しい基準

# バリューチェーン・エンゲージメント



(W1.4a) サプライヤーのうち、水の使用量、リスク、管理について貴社へ報告するよう求めているところは、貴社のサプライヤー全体のどの程度を占めますか。またそれは、貴社の調達費全体でどの程度を占めていますか。

## 変更度合い: 軽微な変更 ・ マネジメントレベル

### マネジメント採点基準

マネジメントポイントを獲得するには、認識ポイントが**満点**付与されている必要があります。

ルートA) [サプライヤー数の割合]欄で、[なし、またサプライヤーにこれを要請する予定もない]と[現在はないが、今後2年以内に求める予定]の両方を除くいずれかの選択肢が選択されている：

[この対象範囲となる根拠]欄に以下の内容を記入している：

- i) 報告対象にこれらのサプライヤーを選択した理由の説明 - 1ポイント
- ii) 報告することに対して、サプライヤーにはどのようにインセンティブが付与されるのか - 1ポイント

[エンゲージメントの影響と成果の評価方法]欄に以下の内容を記入している：

- iii) サプライヤーから要請された情報の種類の詳細 - 1ポイント
- iv) その情報を組織内でどのように活用しているか - 1ポイント
- v) 成功をどのように測定したかについての詳細(例として、使用した評価基準等) - 1ポイント

ルートB) [サプライヤー数の割合]欄で[現在はないが、今後2年以内に求める予定]が選択されている場合、[この対象範囲となる根拠]欄に以下の内容を記入していることに対して、マネジメントポイントが最大2/5ポイント付与されます：

- i) いつこの情報を求めるかについての指標 - 1ポイント
- ii) 報告を求める対象としてどのサプライヤーを選択するかについて、自社固有の詳細 - 1ポイント

### 修正内容

- 採点要件は満点になりました。

# バリューチェーン・エンゲージメント



(W1.4a)サプライヤーのうち、水の使用量、リスク、管理について貴社へ報告するよう求めているところは、貴社のサプライヤー全体のどの程度を占めますか。またそれは、貴社の調達費全体でどの程度を占めていますか。

変更度合い: 軽微な変更 - リーダーシップレベル

## 2021年基準

~~リーダーシップ採点基準~~

~~質問W3.3cでは、リーダーシップポイントの対象となる行のステークホルダーグループ[サプライヤー]に対して、ドロップダウンメニューで[関連性あり、常に含めている]を選択する必要があります。~~

~~リーダーシップポイントは以下のように付与されます:~~

- ~~i) マネジメントポイントが3ポイント以上付与されている - 1ポイント~~
- ~~ii) 調達費全体に占める比率(%)欄で、[26~50%]、[51~75%]、または[76~100%]を選択 - 0.5ポイント~~

## 2022年基準

リーダーシップスコアリング基準

リーダーシップレベルでのポイントを獲得するには、マネジメントポイントが満点付与されている必要があります。

- i) 調達費全体における割合]欄で[51~75]または[76~100]のいずれかの選択肢が選択されている - 1ポイント

### 修正内容

- リーダーシップレベル要件にフルでのマネジメントポイントを要求するようになり、基準i)は削除されました。
- ポイント配分を1.5から1に変更
- 「調達額合計%」欄の選択肢 26~50(%)は、ポイント付与対象外となりました。

# バリューチェーン・エンゲージメント

(W1.4b)その他の水関連サプライヤーエンゲージメントの詳細を記入してください。



変更度合い: 軽微な変更 - マネジメントおよびリーダーシップのレベル

## 修正内容

- マネジメントレベル基準 ii の明確化
- リーダーシップレベル **調達額合計の割合の欄**のオプション「26-50」は、ポイント対象外となりました

## リーダーシップの基準

2021年基準 i)	2022年基準 i)
<p>i) 「水管理およびステewardシップ向上のためのインセンティブ」を選択する場合「エンゲージメントの種類」の欄で「研修&amp;コンプライアンス」または「イノベーションとコラボレーション」を選択している。</p> <p>AND</p> <p>- 調達総額の割合」欄の「<del>26~50</del>」、<del>51~75</del>」または「76~100」 -1点</p>	<p>i) 「関与の種類」の欄で選択された以下のいずれかの選択肢。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>- '水管理およびステewardシップの向上のためのインセンティブ付与'</li><li>- '研修&amp;コンプライアンス'</li><li>- 'イノベーションとコラボレーション'</li></ul> <p>AND</p> <p>調達総額の割合」欄で「51~75」または「76~100」のいずれかの選択肢を選択 - 1ポイント</p>

## マネジメント採点基準

マネジメントポイントを獲得するには、認識ポイントが満点付与されている必要があります。

[貴社のエンゲージメントの対象範囲の根拠]に以下の内容を記入：

i) 貴社のエンゲージメントの対象範囲の根拠 - 1ポイント

[エンゲージメントの影響と成果の評価方法]欄に以下の内容を記入している：

- ii) エンゲージメント活動の水関連での有益な成果の詳細 - 1ポイント
- iii) サプライヤーエンゲージメントの成果の評価方法の説明 - 1ポイント

1つ以上の行が情報開示されている場合、最初の行のみが採点されます。

# モジュール3：手続き

W3.3a  
W3.3b

# リスクの特定と評価の手順

(W3.3a)水関連のリスクの特定と評価の手順を最もよく表している選択肢を選択してください。

変更度合い: スコアリングの変更 - 全レベル

考慮した文脈上の問題	考慮したステークホルダー
該当するものをすべて選択: <ul style="list-style-type: none"> <li>流域/貯水池レベルでの水利用可能性</li> <li>流域/貯水池レベルでの水質</li> <li>流域/貯水池レベルでの水源に関するステークホルダーの対立</li> <li>主なコモディティ/原材料に関する水の関わり</li> <li>水の規制枠組み</li> <li>生態系と生息地の状況</li> <li>全従業員のための適正に機能し安全に管理された上下水道・衛生(WASH)サービスへのアクセス</li> <li>その他、具体的にお答えください</li> </ul>	該当するものをすべて選択: <ul style="list-style-type: none"> <li>顧客</li> <li>従業員</li> <li>投資家</li> <li>地域社会</li> <li>NGO</li> <li>規制機関</li> <li>サプライヤー</li> <li>地方レベルでの水公益事業</li> <li>河川流域/集水地におけるその他の水利用者</li> <li>その他、具体的にお答えください</li> </ul>

新たな欄  
(2021年質問書のW3.3b,cの項目)

バリューチェーン上の段階	対象範囲	リスク評
該当するものをすべて選択: <ul style="list-style-type: none"> <li>直接操業</li> <li>サプライチェーン</li> <li>バリューチェーン上のその他の段階</li> </ul>	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> <li>全部</li> <li>一部</li> </ul>	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> <li>以下の プダウン</li> </ul>

# リスクの特定と評価の手順

(W3.3a)水関連のリスクの特定と評価の手順を最もよく表している選択肢を選択します。



変更度合い:スコアリングの変更 - 全レベル

## 認識採点基準

以下の選択肢

- [直接操業]
- [サプライチェーン]

が[バリューチェーン上の段階]欄で選択されている：

- i) [リスク評価手順]欄で、[その他、具体的にお答えください]を除くいずれかの選択肢が選択されている - 0.5ポイント
- ii) [評価の頻度]欄で、[未定義]を除くいずれかの選択肢が選択されている - 0.5ポイント
- iii) [どの程度の将来のリスクまで考慮しているか]欄で、[不明]と[1年以内]を除くいずれかの選択肢を選択 - 0.5ポイント
- iv) [利用しているツールと方法の種類]欄で、いずれかの選択肢が選択されている - 0.5ポイント
- v) ~~[利用しているツールと方法]欄で、[不明]を除くいずれかの選択肢を選択 - 0.5ポイント~~
- vi) [考慮した状況に関わる問題]と[考慮したステークホルダー]の両方の欄でいずれかの選択肢が選択されている - 0.5ポイント

注意：認識レベルで満点を獲得するには、[直接操業]と[サプライチェーン]の両方が報告されている必要があります。これは同じ行または別の行でも構いません。

↑直接操業・サプライチェーンどちらか一方しか報告されていない場合は、最大で3/6ポイントとなります。

# リスクの特定と評価の手順

(W3.3a)水関連のリスクの特定と評価の手順を最もよく表している選択肢を選択します。



## マネジメント採点基準

マネジメントポイントを獲得するには、認識ポイントが満点付与されている必要があります。

ポイントを獲得するには、以下の条件が満たされている必要があります：

- [利用しているツールと手法]欄で、[社内的な方法]と[社外コンサルタント]の両方を除くいずれかの選択肢が選択されている
- または
- [利用しているツールと手法]欄で、[社内的な方法]と[社外コンサルタント]の両方が選択されている

注記：[社内的な方法]または[社外コンサルタント]と別の選択肢が選択された場合、回答に対してマネジメントレベルでポイントの獲得が可能です。

以下の選択肢

- [直接操業]
- [サプライチェーン]

が[バリューチェーン上の段階]欄で選択されている：

i) [対象範囲]欄で選択肢[全部]が選択されている - 0.5ポイント

ii) [リスク評価手順]欄のいずれかの選択肢を選択 - 0.5ポイント

iii) [評価の頻度]欄で[年に複数回]または[年1回]のいずれかの選択肢を選択 - 0.5ポイント

iv) [どの程度の将来のリスクまで考慮しているか]欄で以下の選択肢のいずれかが選択されている - 0.5ポイント：

- [1~3年]
- [3~6年]
- [6年より先]

注意：[直接操業]と[サプライチェーン]の両方が報告されている場合、この質問のマネジメントレベルで最大4ポイントを獲得可能です。

2021年と  
同じ

2021年と  
同じ

2022年には、サプライチェーン  
のリスク評価の範囲で「Full」を  
選択する必要があります。

初期の軽いタッチ段階の水リスク  
評価を実施していれば、「フル」を  
選択いただけます。

# リスクの特定と評価の手順

(W3.3a)水関連のリスクの特定と評価の手順を最もよく表している選択肢を選択してください。



## 変更度合い: 新しい基準 - リーダーシップレベル

### リーダーシップスコアリング基準

リーダーシップポイントを獲得するには、マネジメントポイントが3ポイント以上付与されている必要があります

[バリューチェーン上の段階]欄で選択肢[直接操業]が選択されている場合、以下の基準に対してポイントが付与されます：

i) [考慮した背景上の課題]欄で以下の選択肢のすべてが選択されている - 1ポイント

- [水の規制枠組み]
- [生態系と生息地の状況]
- [全従業員のための適正に機能し安全に管理された上下水道・衛生(WASH)サービスを利用できること]

ii) [考慮したステークホルダー]欄で以下の選択肢のすべてが選択されている - 1ポイント

- [顧客]
- [従業員]
- [投資家]
- [地域社会]

iii) [対象範囲]欄で選択肢[全部]が選択されている、且つ

[どの程度の将来のリスクまで考慮しているか]欄で、[3~6年]または[6年より先]のいずれかの選択肢が選択されている - 0.5ポイント

[バリューチェーン上の段階]欄で選択肢[サプライチェーン]が選択されている場合、以下の基準に対してポイントが付与されます：

iv) [対象範囲]欄で選択肢[全部]が選択されている、且つ

[どの程度の将来のリスクまで考慮しているか]欄で、[3~6年]または[6年より先]のいずれかの選択肢が選択されている - 0.5ポイント

### 修正内容

基準i)とii)が追加され、2つの新しい欄でスコアリングの選択ができるようになりました。

利用可能なポイントが1ポイントから3ポイントに増加

基準 iii) 及び基準 iv は変更なし。

# リスクの特定と評価の手順

(W3.3b)貴社の直接操業およびバリューチェーンの他の段階における水関連のリスクの特定、評価、それへの対応に用いている、貴社のプロセスを具体的に説明してください。



変更度合い:スコアリング基準の変更 - マネジメントレベル

## 修正内容

冗長な2つの基準に代わり、新たに2つの基準 (iii.およびiv.)に変更が加わりました。

### マネジメント採点基準

- i) 質問W3.3aの[利用しているツールと手法]欄でツールの利用が選択されている(対象範囲と実用的実施の選択したレベルを含む) - 1ポイント
- ii) リスク評価の結果を社内の意思決定プロセスにどのように活用しているか - 1ポイント
- iii) 質問W3.3aの[状況に関わる問題]欄で状況に関わる問題のそれぞれが選択された理由の説明が評価に含まれている - 1ポイント
- iv) 質問W3.3aの[考慮したステークホルダー]欄でステークホルダーのそれぞれが選択された理由の説明が評価に含まれている - 1ポイント

質問W3.3aの[利用しているツールと手法]欄で、以下の選択肢の1つだけが選択されている場合、マネジメントポイントを獲得するには、リスク評価と回答プロセスについての自社固有の詳細が記入されている必要があります：

- [社内的な方法]
- [社外コンサルタント]
- [国特有のデータベース、ツール、または規格]

**2021 基準 iii)と iv)を削除した。**

iii) W3.3a のフル認識ポイント - 0.5 ポイント  
iv) W3.3bで4点以上、W3.3cで6点以上のマネジメントポイントを取得 - 1.5点

# モジュール4：リスクと機会

W4.1a

W4.2

W4.2a

W4.3a

# リスクエクスポージャー

(W4.1a)貴社では、事業に及ぶ財務または戦略面での重大な影響を、どのように定義していますか。



変更度合い:スコアリングの変更 - 全レベル

## 情報開示スコアリング基準

回答を記述 - 1ポイント

← ポイント配分が5から1に減少

## 認識採点基準

採点対象外

← 認識レベルでのスコアリングを削除

## マネジメント採点基準

表への記述内容:

i) 水関連のリスクを特定または評価する時の「重大な財務上または戦略的な影響」の定義、且つ、重大な財務上または戦略的な影響を定義するために使用された定量的指標の説明 - 2ポイント

マネジメントレベルで  
合理化された基準

## リーダーシップスコアリング基準

採点対象外

### マネジメント採点基準

重大な財務上または戦略的影響の詳細に以下の内容を記入することに対して、マネジメントポイントが付与されます:

- i) 財務上または戦略上実質的な影響の定義を記入 - 1ポイント
- ii) 実質的な変化の特定に使った方法、測定基準、指標 - 1ポイント
- iii) 実質的な変化を表す、測定基準/単位/指標の閾値または変化量 - 1ポイント
- iv) その定義は、直接操業もしくはサプライチェーンのいずれか、または両方に当てはまるものか - 1ポイント
- v) 考慮された重大な影響の少なくとも1つの事例 - 1ポイント

← リーダーシップレベルでは基準が削除されました

# 水に関するリスクと対応

(W4.2/W4.2a) - 貴社の直接操業/貴社のバリューチェーン(直接操業を超える)において、事業に対し財務または戦略面で重大な影響を及ぼす可能性があるとして特定されたリスクと、それへの貴社の対応について、具体的にお答えください。



## 変更度合い: スコアリングの変更 - マネジメント & リーダーシップレベル

### マネジメント採点基準

マネジメントポイントを獲得するには、認識ポイントが満点付与されている必要があります

- i) [自社固有の内容]欄で、特定した影響が直接操業にどのように影響するかについての自社固有の詳細を含めている - 1ポイント
- ii) [財務上の潜在的影響額を回答することは可能ですか?]欄で、[いいえ、このデータはありません]を除くいずれかの選択肢が選択されている - 1ポイント
- iii) リスクに対処するために講じられた措置と実施の期間を基準にして、自社固有の対応戦略の説明が[対応の説明]欄に記入されている - 1ポイント

1行のみ採点されます

この質問では最大3ポイントを獲得できます。

- マネジメントレベルのポイント取得に認識ポイント満点が必要になりました（2021年は5ポイント以上が要件）。
- 基準 iii) を強化・明確化

### 採点方法の変更

マネジメントとリーダーシップのレベルでは、最も良い行だけが採点されます。例年は、すべての行が比例して採点されました。

\* W4.3a 機会に関する設問にも適用されます。

# 水関連機会

(W4.3a)貴社の事業に財務または戦略面で重大な影響を及ぼす可能性のある、現在実現しつつある機会について、詳細を説明してください



変更度合い:スコアリングの変更 - マネジメントレベル、リーダーシップレベル

- マネジメントとリーダーシップについては、最も良い行だけが採点されることを再確認してください。
- 管理基準 iiiの明確化
  - W4.2a および W4.2a と同様に基準 iii を明確化し、回答の焦点をより明確にした。

## マネジメント採点基準

マネジメントポイントを獲得するには、認識ポイントが満点付与されている必要があります。

[自社固有の機会の説明と、機会実現の戦略]欄に以下の内容を記入している：

- この機会が企業にとって戦略的機会であるとする理由の説明 - 1ポイント
- 機会を実現するために講じられている措置の説明 - 1ポイント
- その成果と実施の期間を基準にして、機会を実現するために講じられた措置の例 - 1ポイント
- [財務上の潜在的影響額をご回答いただくことは可能ですか]欄で、[いいえ、このデータはありません]を除くいずれかの選択肢が選択されている - 1ポイント

## 1行のみ採点されます

この質問では最大4ポイントを獲得できます。

# モジュール5： 施設レベルの水会計

W5.1

W5.1a

# 施設レベルの水会計

(W5.1) W4.1cで挙げた各施設について、地理座標、水会計データ、前報告年との比較内容を記入します。



変更度合い: 明確化 - マネジメントレベル

変更の内容	W4.1cで開示された施設		W5.1で開示した施設	W5.1 マネジメントレベル採点
施設数不一致の場合の採点方法の明確化 基準の意味するところに変更はありません	5	=	5	4ポイント獲得可能、全列に分配される
右記が主な例です	10	>	5	4ポイントに施設比率を乗じ、全行で分割。  4 * (5 ÷ 10) = 2 マネジメントレベルに与えられるポイント リーダーシップレベルに与えられるポイントなし

## マネジメント採点基準

マネジメントポイントを獲得するには、認識ポイントが満点付与されている必要があります。

報告した施設は、質問W4.1cで言及した施設と同じ施設である必要があります。質問W4.1cで報告した施設を質問W5.1で報告していない場合、最大マネジメントポイントは4に(施設W5.1での施設数) / (質問W4.1cでの施設数)を乗じたものになります。

質問W4.1cで開示したすべての施設の数に比例して、マネジメントポイントが最大4ポイント付与されます。

i) 1つ以上の取水源について0以外の数字を記入した表の各行に対して、2/(質問W4.1cで示した施設の総数)のポイントが付与されます。

ii) 1つ以上の排水放流先について0以外の数字を記入した表の各行に対して、2/(質問W4.1cで示した施設の総数)のポイントが付与されます。

# 施設レベルの水会計

(W5.1a) W5.1で挙げた施設について、第三者検証を受けている水会計データの比率をお答えください。



変更度合い: スコアリングの変更 - 情報開示、認識、マネジメントの各レベル

## マネジメント採点基準

[検証率(%)]欄に選択肢[76~100]が記入されている以下の行それぞれに対して - 1ポイント

- [取水量 - 総量]
- [排水量 - 総量]
- [排水量 - 標準水質パラメータ別の水質]

その他の行 - 0/0ポイント

## 変更の内容

### 情報開示と認識レベル

2021年の5ポイントから2022年の4ポイントに変更

### マネジメントレベル

検証のインセンティブとなる新基準を導入

# モジュール6：ガバナンス

W6.1a

W6.2a

W6.2d

W6.3

# 水資源政策

(W6.1a) 貴社の水に関する企業方針の適用範囲と内容について、最もよくあてはまるものを選択してください。



変更度合い: 軽微な変更 - マネジメントおよびリーダーシップのレベル

## マネジメント採点基準

マネジメントポイントを獲得するには、認識ポイントが満点付与されている必要があります。

- i) [内容]欄の各選択内容に対して -0.5ポイント(最大3ポイント)
- ii) [説明してください]欄に、方針が全社的にどのように適用されるかの説明が記入されている

且つ

[内容]欄で、方針内容の概要が選択されている -2ポイント

ポイント付与を更新



明確化

# 取締役会の監督

## W6.2a取締役会における水関連課題の責任者の職位を特定します(個人の名前は含めてないでください)



変更度合い: 軽微な変更 - リーダーシップレベル

### 修正内容

#### リーダーシップ

- 決定例は、報告年度の最大2年前までとすることを明確化した。

ii) [説明してください]欄に、個人/委員会が行った水関連の意志決定の例を1つ以上記入している。(事例は報告年の2年以内のものである必要があります) - 1ポイント

1つ以上の行が情報開示されている場合、最初の行のみが採点されます。

# 取締役会の監督

W6.2d 貴社には、水関連問題に精通した能力を持った取締役が1人以上いますか。



変更度合い: 新規設問

## 情報開示スコアリング基準

表示されたセルの数に比例して、記入したセルごとにポイントが付与されます。

この質問では最大3ポイントを獲得できます。

## 認識採点基準

認識ポイントを獲得するには、情報開示ポイントが満点付与されている必要があります。

[取締役が水関連の問題に関する能力を持っています]欄で[はい]または[いいえ、しかし今後2年以内にこれに取り組む予定です]のいずれかの選択肢が選択されている - 1ポイント

## マネジメント採点基準

マネジメントポイントを獲得するには、認識ポイントが満点付与されている必要があります。

[取締役が水関連の問題に関する能力を持っています]欄で選択肢[はい]が選択されている - 1ポイント

[取締役が水関連の問題に関する能力を持っています]欄で選択肢[いいえ、しかし今後2年以内にこれに取り組む予定です]が選択されている - 0.5ポイント

# 経営責任



## W6.3 水関連の問題に責任を負う経営層レベルで最上位の職位または委員会を記入します(個人の名前は含めないでください)。

変更度合い:スコアリング基準の変更 - マネジメントレベル

### 新基準の詳細。

- 基準i)の変更は、ドロップダウンのスコアリング選択肢の変更を反映したものであり、意味するところは変わりません
- 個人の地位の記述を求める基準を削除
- *A description of nature of report...*を*A description of water-related topics that are reported...*に変更した。

### マネジメント採点基準

i) [責任]欄で選択肢[水関連リスクと機会の評価]と[水関連のリスクと機会の管理]の両方の選択肢が選択されている - 1ポイント

[説明してください]欄に以下の内容が記入されている：

ii) 取締役会に報告される水関連のトピックの説明 - 1ポイント

iii) 選択した個人/委員会の水関連責任の詳細 - 1ポイント

# 経営責任

(W6.3)水関連の問題に責任を負う経営層レベルで最上位の職位または委員会を記入します(個人の名前は含めないでください)。



変更度合い:スコアリングの変更 - リーダーシップレベル

(W6.3) 水関連の問題に責任を負う経営層レベルで最上位の職位または委員会を記入します(個人の名前は含めないでください)。

職位または委員会	責任*	水関連問題に関して取締役会に報告する頻度*	説明
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> <li>水関連問題に対して管理職レベルの責任者がいません</li> <li>最高経営責任者(CEO)</li> <li>最高財務責任者(CFO)</li> <li>最高執行責任者(COO)</li> <li>最高調達責任者(CPO)</li> <li>最高リスク管理責任者(CRO)</li> <li>最高サステナビリティ責任者(CSO)</li> <li>その他の最高経営層、具体的にお答えください</li> <li>社長</li> </ul>	該当するものをすべて選択: <ul style="list-style-type: none"> <li>水需要の今後の傾向の評価</li> <li>水関連のリスクおよび機会の評価</li> <li>水関連のリスクおよび機会の管理</li> <li>その他、具体的にお答えください</li> </ul>	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> <li>四半期に1回以上の頻度</li> <li>四半期に1回</li> <li>半年に1回</li> <li>年1回</li> <li>年1回より少ない頻度</li> <li>重要な事案が生じたとき</li> <li>取締役会に報告なし</li> </ul>	文章

新しいリーダーシップの基準 iii. ii) [責任]欄で選択肢水需要の今後の傾向の評価が選択されている - 0.5ポイント

# モジュール7：事業戦略

W7.1

W7.5

# 経営責任

W7.1 貴社の長期的・戦略的事業計画のいずれかの側面に水関連問題が組み込まれていますか。もしそうであれば、どのように組み込まれていますか。



## 変更度合い:スコアリングの変更 - マネジメントとリーダーシップのレベル

### マネジメント採点基準

マネジメントポイントを獲得するには、認識ポイントが満点付与されている必要があります。

各行に対して、ポイントを獲得するには、以下の条件が満たされている必要があります:

[水関連の問題が組み込まれていますか?]欄で[はい、水関連の問題が組み込まれている]が選択されている  
且つ  
回答文が、選択した長期時間軸と一致している

[説明してください]欄に以下の内容が記入されている:

i) 特定した水関連の問題を戦略的事業計画の各側面に統合するために講じられた措置の例 - 1ポイント

明確化

マネジメント基準を削除

~~i) どの水関連問題を統合しているか - 1ポイント~~

### 修正内容

#### マネジメント

- 2021年版スコアリング基準の基準i)が削除された。
- 残りの基準を明確化
- 利用可能なポイント数が6から3に減少

#### リーダーシップ

- リーダーシップの採点にマネジメントの満点が必要になりました。

# 製品・サービス



W7.5 貴社が現在製造や提供をしている製品やサービスの中で、水の影響を少なく抑えているものはありますか。

変更度合い: 新規設問

(W7.5) 貴社が現在製造や提供をしている製品やサービスの中で、水の影響を少なく抑えているものはありますか。

水資源の影響が少ないと分類した製品および/またはサービス	水資源の影響が少ないと分類するために使用した定義*	貴社の最新製品および/またはサービスが水資源への影響が少ないと分類しない主な理由*	説明してください
選択肢: <ul style="list-style-type: none"><li>● はい</li><li>● いいえ、しかし今後2年以内に取り組む予定です</li><li>● いいえ、また今後2年以内にこれに取り組む予定もありません</li></ul>	文章入力欄 [最大5,000文字]	選択肢: <ul style="list-style-type: none"><li>● 重要だが、差し迫った事業上の優先事項ではない</li><li>● 重要でないと判断し、理由も説明</li><li>● 社内リソースの不足</li><li>● 経営陣から指示がないため</li><li>● その他、具体的にお答えください</li></ul>	文章入力欄 [最大1,000文字]

情報開示と認識レベルのみで採点

**変更の理由**  
本設問は新規のため、2022年ではライトタッチの情報開示と認識レベルでの採点となります。

# セクターに関する設問

W-CH1.3a

W-EU1.3a

W-FB1.3a

W-MM1.3a

W-OG1.3a

# 水原単位

## W-X1.3a 全セクター向け：セクター固有の水原単位に関する設問



変更度合い: 軽微な変更 - マネジメント リーダーシップレベル

### マネジメント採点基準

マネジメントポイントを獲得するには、**認識ポイントが満点付与されている必要**があります。

次のように開示された行の数に比例して、行ごとにポイントが付与されます:

説明してください欄に:

- i) 前報告年からの量の変化/無変化の理由を説明 - 1ポイント
- ii) 評価基準の内部的な利用法 - 1ポイント
- iii) 水原単位についての今後の予想される傾向を説明 - 1ポイント

この質問では最大3ポイントを獲得できます。

### リーダーシップスコアリング基準

リーダーシップポイントを獲得するには、**マネジメントポイントが満点付与されている必要**があります。

次のように開示された行の数に比例して、行ごとにポイントが付与されます:

- i) [説明してください]欄に水原単位の削減のために実施している戦略に関する詳細。

この質問では最大1ポイントを獲得できます。

＜設問＞製品重量/容量でみた貴社の上位5製品について、●●セクターでの貴社の活動に関連する以下の水量原単位情報をご提供ください。

### マネジメント

- フル認識ポイントが採点要件として必要になりました

### リーダーシップ

- フルマネジメントポイントが採点要件として必要になりました

# 2022 スコアリング関連資料

# CDPが提供している主な資料(リンク集)

- ▼ よくあるご質問(FAQ)
- ▼ 回答ダッシュボード使用方法(アカウントの作成など)
- ▼ オンライン回答システム使用方法
- ▼ スコアリングイントロダクション
- ▼ 気候変動・水セキュリティ・フォレスト質問書
- ▼ 各質問書に関するガイダンス資料・スコアリング基準
- ▼ 各質問書に関するウェビナー(動画・資料)
- ▼ 各質問書の前年からの変更点
- ▼ 公開されている他社回答へのアクセス
- ▼ 日本語版気候変動・水セキュリティ・フォレスト報告書
- ▼ CDPジャパンが開催するセミナー情報(過去の録画・資料含む)

